

し、たつた。

勞資關係の調整は刻下の時局に於て喫緊を要するに  
なるに鑑み、協調會時局對策委員會に於ては、本件  
に就き慎重審議の上左の通決議致したるにつき此後乃  
建議候也

理由

我國現下の時局は重大を極め就中戰時戦後の勞資關  
係は一度其の措置を愆らんか、直に容易なる事態  
と惹起するに立到るべきを俟せざるの實情あり。斯の  
如き國家未嘗有の難局に方りては舉國一致官民一体之  
が對策を講むべきは喫緊の急務なりとす。

財團法人協調會は刻下の時局の重大なるに鑑み、去  
る二月二日時局對策委員會を組織し爾來熱心に熟議を  
重ねたるところ今般別紙勞資關係指導精神の確立及び  
の普及宣揚に關する諸方策の決定を見るに至り。

仍て別紙勞資關係指導精神の確立に關する要綱を具  
し、之が普及宣揚に對する諸般の方途を陳情し、以て  
急進なる具体化を要望するに依り、尚本會に於ては  
、時局對策委員會の決議に基き、本指導精神を宣揚し  
、勞資關係調整の完璧を期する爲、各事業場に右精神  
を具現するための機關の設置を勸奨し、且その連絡指  
導をなすための中央機關設立の準備を進めつゝ、茲に  
依り本運動の發展促進の爲、政府の御援助、御協力を